

■大塚小学校 3年 国語「モチモチの木」

授業のねらい

○登場人物の性格を考えながら読み、考えたことを伝え合う。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

○オクリンクプラスを活用して、登場人物の性格を考えながら読み、考えたことを伝え合う。

【具体的な流れ】●（教員）○（児童）

○名前ピンを PowerPoint で作成する。（赤・青の2種類）

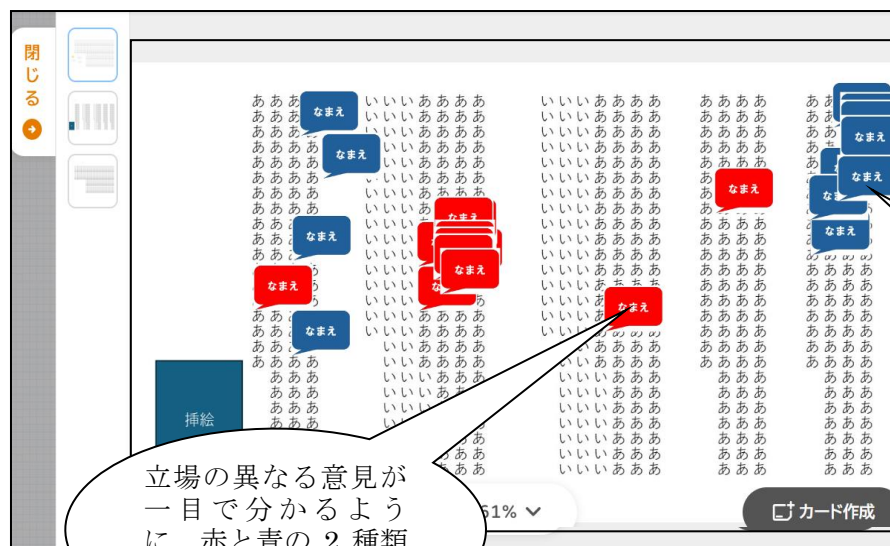
●全文シートを貼り付けたカードを児童に送る。

○全文シート上の、自分の考えの根拠となる叙述（豆太の性格が変わったと思うところ）に名前ピンをさし、「みんなのボード」に送る。

●送られてきたシートをピン集計する。⇒1枚のカードに児童全員のピンが集約される。

●集約したカードを児童に送る。

○自分とは違う叙述にピンをさした人（自分と考えが異なる人）に、考えを聞きに行く。



立場の異なる意見が
一目で分かるよう
に、赤と青の2種類
のピンを作成する。

名前入りのピンは
事前に PowerPoint
で作成する。

集計結果イメージ（個人情報を含むため）

児童の様子

○すぐに自分と違う意見の子供を見付け、活発に意見交換する様子が見られた。

成果

○1つのシートに全員分の考えが反映され、意見の集約が容易だった。

○色を分けたことにより、どの部分で豆太が変容したか視覚的に把握しやすくなった。

課題

○集計結果をカードにしたものは特に、名前が重なってしまい、一箇所に意見が固まると誰がピンをさしたか一目で判別できない。国語等の場合には一定の範囲が指定できる「」（かぎカッコ）などのスタンプがあると分かりやすいと感じた。